

ROTARY INTERNATIONAL



2017-2018
国際ロータリーテーマ

ロータリー：
変化をもたらす

川崎西ロータリークラブ会報



2017-2018 年度 RI 会長 イアン H.S. ライズリー

国際ロータリー第 2590 地区 川崎西ロータリークラブ

会長 黒川俊一 幹事 上松義典 会報委員長 池田裕一

Kawasaki-West RC Weekly 2017-2018

第 2531 回例会 (17/18 年度第 14 回)

平成 29 年 10 月 13 日 (金)

■ 点鐘並びに開会宣言～黒川 俊一 会長

■ 斉唱 ～ソングリーダー 三木 博之 会員

ロータリーソング 「我らの生業」

■ お客様紹介 ～親睦活動委員会 藤田 健司委員

原田 淑人 様 (シキホールセントラル RC)

本日のゲストスピーカー)

■ 理事会報告 ～黒川 俊一 会長

① クラブ会計は順調に推移しています。

② 11 月の理事会は 11 月 10 日に行う予定でしたが、
地区大会と日程が重なるため、10 月 27 日 (金) に行
います。

■ 会長報告 ～黒川 俊一 会長

① 地区より「ポリオ撲滅チャリティーディナーショー」
の出席についてのお礼状が届いております。尚、当日
は 500 名の方のご出席をいただき、チャリティー募金
額は 330,000 円との報告がありました。

② 同じく 2017～2018 年度地区大会登録委員会委員委嘱の
件で、私に登録委員会委員就任の案内が参っております。

③ 同じく地区大会本会議新会員登壇の案内参っておりま
す。(詳細は事務局より案内をいたします)

④ 神奈川ロータリークラブより「横浜港北 RC の桑原薫様
による卓話及びフォーラム」開催の案内が参っており
ます。日時は 11 月 20 日 (月) 12 時 30 分点鐘、
例会終了後フォーラム、場所はホテルキャメロットジ
ャパン 5 階、テーマは「奉仕とサービス」

⑤ 同じく「川野正久パストガバナーによる卓話及びフォー
ラム」開催の案内が参っております。

日時は 11 月 27 日 (月) 12 時 30 分点鐘 例会終

了後フォーラム。場所はホテルキャメロットジャパン
5 階。テーマは「ロータリーの歴史」

■ 幹事報告～上松 義典幹事会報裏面をご覧ください。

■ 各委員会報告

□ 出席委員会

本日	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2531 回	70 名	69 名	52 名	17 名	75.4%
前々回修正		メキップ 1 名		9 名	86.8%

□ 家庭集会委員会

～谷山安治グループ長

本日 6 時から KSP 多摩川で行います。

～上形泰俊グループ長

10 月 27 日 (金) 6 時からフィオーレの森にて行います。

～戸張勝美グループ長

10 月 27 日 (金) 6 時 30 分から多摩川で行います。

□ 青少年奉仕委員会～山寺 雄太委員長

① サツマイモの収穫の案内をさせていただきます。

10 月 25 日 (水) 9 時から吉田農園にて行います。

② 10 月 27 日 (金) 例会前 11 時 30 分よりホワ
イエにて青少年奉仕委員会を開催いたします。

■卓話 「モリンガを飲んで島の子供たちに支援を」



～シキホールセントラル RC

原田 淑人 様

私は 3860 地区フィリピンシキホ
ール島のセントラルロータリークラ
ブの原田です。今回シキホール島から日本のロータリア
ンのみなさまにお願いがあつてやってきました。

私は元神奈川県平塚市の小学校教員でした。36年間の教員生活のうち7年間を海外日本人学校で過ごしました。最初が内戦下のベイルート日本人学校、戦争のため休校になったため、砂漠のクウェートに転勤。その後ベイルートに復帰。教師は私だけ、児童も3人だけ・たった3人でしたが、外を砲弾が飛び交う厳しい環境の中で大使館の1室で勉強をしました。教えたい教師と教わりたい児童、教育の原点がここにありました。いったん日本に帰国後オランダに派遣されました。退職後自分の36年間の教師生活の経験を生かせる場所をと「世界のどこかで私を待っている人がある」と探して、縁あってここシキホール島にやってきました。シキホール島で小さなビーチリゾートを運営しながら島の子どものための教育環境を改善する活動をしています。私は長年ボランティア活動に携わってきましたが、その原点が青少年赤十字との出会い「橋本祐子先生」との出会いです。小学校の頃から赤十字の理想の人道、博愛、奉仕、国際理解などを身につけさせたいと学校に組織されているものです。橋本先生は赤十字のノーベル賞と言われる「アンリーデュナン賞」を、生存している人で初めて、アジアで初めて、女性で初めて受賞された方です。美智子皇后陛下が皇太子妃の時には学習係としてお話し相手になった方です。その橋本先生からいただいた3つの言葉が私のその後の教員人生を支えてきました。今もここシキホール島で実践しています。「気づき考え実行する」です。シキホール島はフィリピンで一番小さな州です。淡路島くらい大きさで人口8万人、先日アジアで最も発展している観光地として発表されました。

2004年に来た頃はお客様がほとんどいなかったのですが日本のテレビなどで紹介され、お客様の数も年間5,000人にもなりました。島には63の小学校、14のハイスクール、4つのカレッジもあります。教育的には恵まれているように思えますが内容はお粗末です。びっくりしたのは学校にトイレがない、水道が引かれていない、視聴覚器材が何もない。保健室もない。救急箱もない。チョークと黒板だけの授業です。まずはトイレから作ってあげたい。昔の教え子たちに寄付を呼びかけいくつかの学校にトイレを作りました。その頃、友人の2700地区のロータリアンが遊びに来て「原田さん、個人の力では限りがあるよ。ロータリークラブを立ち上げたら日本のロータリークラブがきっと力になってくれるよ」とのアドバイスで島の友人たちに声をかけシキホールセントラルロータリークラブを立ち上げました。本当にロータリークラブを立ち上げてよかったとつくづく思っています。日本のロータリークラブなどの支援で今までに42校に120基のトイレを。10校に水タンクを。4校に幼稚園を。7校に卒業式用の外ステージなどを作ってきました。日本のロータリークラブのおかげです。

これらの活動を島のロータリアンが州知事に推薦したおかげで2013年に州知事から「シキホール島日本親善大使」を拝命しました。その最初の仕事が2013年の超スーパー台風ハイエンの支援でした。

日本でも毎日のように報道されたこの台風はレイテ島から真横に走り、セブ島北部も直撃しました。瞬間最大風速100mものすごい台風でした。初めて「シキホール島日本親善大使」の名前を使わせていただき、全国の地区ロータリークラブに声をかけさせていただきました。たくさんクラブが支援してくださり、400万円もの寄付金が集まり、修復が完成。今は525名の学生たちが楽しく勉強しています。ロータリークラブの奉仕の気持ちとパワーを感じました。また平塚湘南ロータリークラブが国際ロータリーに働きかけグローバル補助金で400万円を獲得して5つの村と2つの学校に水道を引きました。8,000人の人たちが恩恵を受けています。これらの活動が認められ、2016年にアキノ大統領から「感謝状」をいただきました。学校を出ても就職先がありません。ただし、カレッジを出ると、マニラやセブ島、海外で働くチャンスが増えてきます。シキホール島には産業といえる産業がありません。私は毎年10人の奨学生をカレッジに送っています。こんな子をもっと増やしてあげたいと思っています。

モリンガはどこの家庭の庭先にもあります。このモリンガをもっと島中で植えてもらい、私が買い上げ、乾燥させ、日本に送って、日本で理解のある人たちに買ってもらう島の子を支援にするプロジェクトにできないかと考え、3年前から島中の学校の校長先生を集めて「モリンガ基金」の話をして協力を呼びかけました。学校中に植えてもらい、各家庭にもちらしを作って呼びかけ、うちの敷地内に工場も作り、モリンガはずいぶん増えてきました。やっとここで輸出許可が認可されこの8月から日本に輸出できるようになりました。これからどんどん日本に持って来られるように島中にモリンガを普及したいです。モリンガは天然のサプリメント。モリンガは「奇跡の木」「命の木」「母の親友」「薬箱」と呼ばれるように世界最古の伝統医学「インドのアーユルヴェーダ」・身体も心も健康的で豊かな人生を送る指南書」で有効な植物として使われています。国連のWFPの世界食糧計画にも取り入れられアフリカなどでも栽培されています。

どうかこの「モリンガ茶を飲んで島の子どもたちに明るい未来を」のモリンガ基金にご協力ください。モリンガ茶は天然のサプリメントです。薬ではありません。毎日少しずつ続けて飲んでいただくと効果が出るし、たくさんの子どもたちの支援につながります。どうかよろしく願います。



モリンガをもっと島中で植えてもらい、私が買い上げ、乾燥させ、日本に送って、日本で理解のある人たちに買ってもらう島の子を支援にするプロジェクト